



「事業者向けアドバイザー業務」における地域活性化支援の取組みについて

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2020年10月5日（月）、カズサの郷農泊推進協議会（代表 須藤 久雄）と「事業者向けアドバイザー業務」の契約を締結し、君津市向郷周辺地区における地域活性化事業の支援に取り組みます。

「事業者向けアドバイザー業務」は、当行がこれまで事業性評価で培った知見やノウハウを活かし、必要に応じてグループ会社や外部専門機関とも連携しながら、お客さまの経営相談に対する総合的なコンサルティングを行うサービスです。

カズサの郷農泊推進協議会は、君津市向郷周辺地区の宿泊・飲食事業者などで構成され、国の交付金なども活用しながら2020年度からの2か年計画で地域一帯を「カズサの郷」としてブランディングし、農泊推進事業^{*}を推進していきます。

当行は、同協議会の設立段階から関与しており、今回、アドバイザーの立場で外部専門機関とも連携しながら本事業のコンセプトとなる「カズサの郷グランドデザイン」の策定支援等を担います。

「事業者向けアドバイザー業務」の内容および同協議会の概要は下記のとおりです。当行は今後もお客さまの地域活性化に向けた活動を積極的に支援していきます。

記

【「事業者向けアドバイザー業務」の内容】

業務内容	ワークショップの開催、グランドデザインの策定支援
実施時期	2020年10月～2021年3月（予定）

【カズサの郷農泊推進協議会の概要】

所在地	千葉県君津市向郷 1687 番 1
代表者	須藤 久雄
構成員	有限会社ミラーユ（イレブンオートキャンプパーク運営） 株式会社愛彩畑（カズサの郷愛彩畑運営） 株式会社アグリライフ倶楽部（カズサ愛彩ガーデンファーム運営）
設立	2020年3月9日
事業内容	農泊コンテンツ、農泊体験（ファームステイ）プログラムの提供

※「カズサの郷農村景観の保全と美観創出」「新商品開発」「農業体験新規商品化」「インバウンドの受入体制整備」「Villaカズサ（コテージ）整備」の5つのプロジェクトを実施し、新たな農泊コンテンツ、農泊体験プログラムの提供を目指す事業。

以上